

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年6月24日

【評価実施概要】

事業所番号	2772201790
法人名	社会福祉法人 久栄会
事業所名	グループホームみのり苑
所在地	大阪市生野区巽中2丁目14番1号 (電話) 06-6756-7600
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 5月 29日

【情報提供票より】(平成 20年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 3月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人
職員数	10人	常勤 7人, 非常勤 3人, 常勤換算	7.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての	階 ~	1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	約17,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要 (平成 20年 5月 1日現在)

利用者人数	6名	男性	2名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 89.3歳	最低 83歳	最高 101歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みのり苑付設診療所、武田医院、芥川病院、谷歯科医院、谷村歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地下鉄駅から徒歩10分の住宅地にあり、近くには商店街やスーパー、老人憩いの家、公園などがあります。交通の便が良く、訪問しやすいと家族や友人に喜ばれています。同法人の特養が在宅サービス事業などを運営している中で、地域密着型の認知症グループホーム設立の要望もあり、養護老人ホームの1階に開設しました。家庭的なゆったりとした雰囲気を保ちたいとの思いから、利用者は6名におさえられています。利用者は一人ひとりの細やかな目配りと支援でゆったりと過ごしています。各居室には洗面台と隣室との共用トイレが設置され、手すりがついており安心して使用できると喜ばれています。地域との交流を心がけ、利用者は散歩や買い物時に地域住民と挨拶を交わしたり、地域のサロンへは毎月参加したり、ボランティアとの体操やレクリエーションを楽しんでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 外部評価の結果について改善に向け話し合いの場をもち取り組んでいます。生活空間作りについては玄関に手作りの看板や玄関周りにベンチを設置し、季節感のある草花や野菜を植えるなどして家庭的な雰囲気になるよう工夫しています。また玄関の施錠について、自動ドアの暗証番号による開閉については、家族からも意見を聞き、対策を検討中です。金銭管理についても家族に確認してもらえるように取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の意義を管理者と職員全員で共有しています。自己評価については、コピーを取って全職員に配って記入してもらい、職員間で話し合い、その結果を主任がまとめて記載しました。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の規定を作成しています。また、家族・地域代表者・地域包括支援センター支援担当者が参加し、会議で得た意見を地域とのかかわりやサービス向上に活かせるように努めています。また、利用者の様子やサービス状況をみてもらう機会を設けています。外部評価結果について委員から質問、要望、助言をもらっています。委員からは地域の情報を得ています。異地域のサロンへの参加や異喫茶への参加も受け入れてもらっています。また利用者の転倒などによる事故報告時に家族への説明の際、専門用語は使わずに解りやすい言葉で説明してはどうかという助言がありました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 面会は毎日頻繁に来訪される家族や月1回の家族と様々で、訪問の際には近況を伝えるとともに、健康状態や服薬状況も報告しています。金銭管理については、定期的に明細書・承認書を送り家族に確認の印を押した承認書を送り返していただいています。リビングに意見箱を設けています。また、納涼祭や忘年会の際には、利用者やその家族と一緒に食事を食べながら、意見や要望を聞き、話し合える雰囲気作りを心がけています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域老人憩いの家で毎月行われているサロン、喫茶、食事サービスに参加して交流しています。区内の小学校で開催される福祉施設合同ふれあい運動会や盆踊りに参加し、まただんじり祭りを見学しています。また、花の水やりや玄関先のベンチでくつろぐ利用者に、通学の子どもや散歩途中の方が一緒に休憩したり、声をかけてもらったりする等、交流が図られています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「少人数、家庭的な環境を活かし利用者一人ひとりの個性と主体性を大切にした援助を目指す」「落ち着いたある雰囲気の中で過ごしご家庭・地域との関係を継続していける援助を目指す」としてグループホームの方針を地域に密着した内容で掲げています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念について理解し共有しています。6名と言う利用人数にこだわり、家庭的な雰囲気でゆっくりと落ち着いた介護をという管理者の思いが職員に伝わっています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域老人憩いの家で毎月行われているサロン、喫茶、食事サービスに参加し、地域の方々と交流しています。区内の小学校で開催される福祉施設合同ふれあい運動会や盆踊りに参加し、だんじり祭りを見学しています。また、花の水やりや玄関先のベンチでくつろぐ利用者に、通学の子どもや散歩途中の方が一緒に休憩したり、声かけをしてもらったりする等、交流が図られています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を管理者と職員全員で共有しています。自己評価については、コピーを取って全職員に配って記入してもらい、その結果を主任がまとめて記載しました。昨年の外部評価受審の際に示された玄関周りには、季節感のある草花を植えるなど家庭的な雰囲気になるよう工夫しています。玄関の暗証番号による施錠については、家族からの意見も聴取し、対策を検討中です。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成しています。また、家族・地域代表者・地域包括支援センターの担当者が参加し、会議で得た意見を地域とのかかわりやサービス向上に活かせるように努めています。また、事業所の取り組み課題を職員間でも話し合っています。会議の構成メンバーにホームを見学してもらい、利用者の様子やサービス状況を見てもらう機会を設けています。しかし、会議は定期的な開催に至っていない状況です。	○	今後はおよそ2ヶ月に1回会議を開催することが求められます。また事業所を理解してもらう機会として積極的な開催が望まれます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者には、わからないことや入居申し込みなどで相談することがあります。また運営推進会議に参加している地域包括支援センターの職員とも連携を図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会は毎日頻繁に来訪される家族や月1回来訪される家族と様々です。訪問の際には近況を伝えるとともに、健康状態や服薬状況も報告しています。金銭管理については、3ヶ月に一度明細書・承認書を送付し、家族に確認印を押した承認書を送り返していただいています。高額のを購入する際には、事前に家族へ確認の電話を入れています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	リビングに意見箱を設けています。また、納涼祭や忘年会の際には、利用者や家族と一緒に食事をしながら、意見や要望を傾聴し、話し合える雰囲気作りを心がけています。昨年は流しそうめんを一緒にいただきました。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との馴染みの関係作りを重視して、異動は最小限になるよう配慮しています。同法人である隣の特別養護老人に異動することはありませんが、利用者にはその都度説明し、いつでも会える状況です。新人職員が入った時には家族の来訪時に紹介しています。また年数回発行の「みのり苑だより」でも報告しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修、外部研修ともに参加する機会を設けています。年間のおよその計画も立てられており、どの職員も参加できるよう配慮しています。研修報告書の提出もあります。管理者の推薦により海外研修に参加した職員もあり、そこでの貴重な体験を皆に広め、より一層絆の深いチーム体制が確立しています。今年度は、認知症介護についての研修が予定されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪市老人福祉施設連盟グループホーム分科会での集まりや、大阪市グループホームネットワークでの研修に参加してサービスの向上に取り組んでいます。法人代表が大阪市グループホーム分科会座長を務めています。近隣のグループホームとは野菜の苗をもらったり、情報交換のできる関係作りができています。今後とも他ホームとの交流の機会を深めることが期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して利用できるよう、ホームでの生活に慣れるまで家族の方には頻りに来てもらっています。ホームでの生活のリズムをつかめるような支援や、気長に馴染みの関係を作っていけるよう働きかけています。また、自宅や入所施設を訪問して面接の機会を作るほか、本人や家族にホームを見学してもらい、ホームでの生活に納得が得られるよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者に敬意を持って支援しています。おはぎの作り方や味付け、花の育て方を教えていただいたり、一緒に洗濯物をたたんだりしています。編み物の得意な方には昔編んだ作品を見せてもらったり、編み方を教わったりしています。囲碁の好きな方、新聞の好きな方、それぞれに楽しんでもらっています。利用者一人ひとりの特性を把握した上で、常に教えていただく気持ちを持って接しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者の希望や意向の把握に努めています。言葉や表情から読み取ったり、確認したりしています。意思疎通の困難な方には、家族や関係者から今までの暮らしぶり、思いや希望・趣味・好きな食べ物等の情報を得て、入居に至るまでの様子について記述しています。今後とも、アセスメントシートを充実させ、職員間で情報を共有することが望まれます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体会議に職員が参加して、介護計画を作成しています。利用者や家族の意見も取り入れています。また、アセスメントシートには、利用者の生活歴、ライフスタイルが記載されており、望まれる生活を介護計画に取り入れています。作成した介護計画については、利用者や家族による同意のサインを得ています。職員全員が計画内容を把握しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回の介護計画の見直しを行っています。モニタリングを実施し、家族や利用者の要望を取り入れ、利用者に変化が見られる場合は、その都度介護計画の見直しを行っています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録が整備されており、それらに基づいて介護計画が見直されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内のデイサービスにて歌体操に参加しています。ボランティアの来訪にて囲碁を一緒にしてもらったりしています。かかりつけ医に受診の時は通院介助の支援をしています。また、福祉専門学校実習生の受け入れも行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の内科医往診が1週間に2回あります。夜間緊急時の対応も確保しています。また、同法人内の診療所には歯科、皮膚科、外科の医師がおり、必要な時には来訪してもらい受診しています。また、利用者や家族の希望で、かかりつけ医に受診できるよう対応しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点では職員間で、重度化や終末期の対応について幾度か話し合っているところです。	○	現時点で重度化や終末期の対応に取り組みが困難であっても、利用者や家族の意向確認を行い、医師や看護師を交えて話し合うことが求められます。急変時の対応など利用者や家族が安心してサービスを利用できるように、課題として検討することが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが、勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図るよう心がけています。また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。個人記録等は利用者の目にふれないよう保管されています。利用者の誇りやプライバシーには注意を払い、職員の言葉使いも丁寧です。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急かすことなく支援しています。ゆっくりと食事を取る方の横にさりげなく職員が着き声をかけたり、食後部屋で横になる方、新聞を広げ読んだりする方など一人ひとりのペースを見守っています。事業所としての日課はありますが、利用者の意向に合わせて支援し、見守ることにしています。気候や利用者の状態を確認しながら、常に臨機応変に取り組んでいます。利用者が過ごしやすい場所を把握して、家具の配置などにも配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、朝昼晩とも併設の厨房から調理されたものを運び、ご飯と汁物はグループホームで作製、盛り付けしています。利用者は米とぎ、汁物の味付け、食事の盛り付け、配膳、洗い物を職員と一緒にしています。また下膳・テーブル拭きを率先してされました。お正月のおせちについては日本風と韓国風を出して喜ばれています。食事職員が各テーブルに着き、楽しく和やかに食べていました。月一回のおやつ作りは、おはぎ・ホットケーキなど利用者に教えてもらいながら作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴したい日、希望する時間帯に入浴してもらっています。毎日入浴を希望する利用者にも支援しています。職員が目が行き届くよう一人ずつ入浴しています。脱衣所はゆったりとしたスペースがあり、整然としています。また安定したベンチも配置し、脱衣が容易にできるよう工夫しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理などを教えていただきながら、おやつ作りを楽しんでいます。ホットケーキを焼いたり、おはぎの作り方を教えてもらったりしています。ボランティアとの囲碁や、編み物・散歩等、職員は利用者の楽しみごとを把握し支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物は天候が良ければ毎日出かけています。近くに公園や商店街、地域の憩いの家があり、訪れて挨拶を交わしています。ホーム玄関にベンチを設置していて、日光浴を楽しまれる方もいます。すぐに外出できるよう玄関脇に帽子・上着・車椅子を置くスペースがあります。利用者の玄関に向かう様子を職員が直ぐに察知し、付き添っています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回の評価で示された施錠については、運営推進会議でも議論し、家族にも問いかけて改善に向けた取り組みを行っています。玄関前は一方通行の道で斜め前にはガソリンスタンドがあるため、安全上の面から施錠をしています。利用者の安全と家族の安心につながるよう配慮しながら柔軟に取り組んでいます。現在は見守りののできる時間帯のみ開錠しています。	○	利用者の安全に配慮しながら開錠の時間を増やされることが求められます。また、毎日決まった時間に開錠できるよう検討されてはいかがでしょうか。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署による協力を得て、避難訓練、消化器の使い方、誘導方法、避難場所の指導などを受けています。災害時マニュアルを作成し、職員全員が把握しています。しかし、非常用食料や水の備蓄までには至っていない状況です。	○	災害時に備えて、非常用食料や水を備蓄することが求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては、施設の管理栄養士のアドバイスを受けてカロリー計算をしたバランスの良い献立です。食事摂取量について毎回確認し、記録をしています。水分摂取量については、毎回食事の折やティータイムの時に水分補給に気をつけ、脱水予防に努め記録しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム玄関には季節の草花や野菜が植えられ、ベンチも設置されていました。玄関内には車椅子やコートかけ、帽子など散歩の用意がされています。園児の絵や職員の習字が飾られ温かい雰囲気です。リビングからは庭園が眺められ、落ち着いた雰囲気となっています。大きな手作りのカレンダーも用意され、月日の確認に役立っています。中庭には洗濯物干し場があり、低い位置で作業しやすくなっています。また浴室は広々としており、手すりや椅子もありました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室はゆったりとした広さで、洗面所やトイレも設置されています。利用者は自宅から食器棚や手芸品、テレビ、タンス等思い出の品々を持ち込み、家族との写真や、自分で作った作品を飾っている方もあります。自分の居室で馴染みの品々に囲まれて、ゆったりと過ごされている様子がみられました。</p>		